

令和5年度 福岡県立筑紫中央高等学校(全日制) 第1学期終業式式辞

1 学期は大きな事件や事故もなく、無事に終業式を迎えることを大変嬉しく思います。終業式にあたり、この学期を振り返ってみますと、始業式の時に私は皆さんに4月から新校舎での学校生活が始まり、学習に集中できる環境のもと、学校生活を楽しんでいる姿を見ることを心から期待していると伝え、その通りでした。

1 学期は様々な行事があり、最大行事の体育祭も大成功に終えることができました。雨の影響で先生方が頭を悩ませていたところ、体育祭実行委員長をはじめ、実行委員の生徒やリーダー達が明るく前向きな姿勢を持ち、今までにない2日間の体育祭を成功させたことは、きっと新しく記録に残るものでしょう。ひた向きに明るく元気に難題を超えていく皆さんの姿に感動し、今後の成長を期待させるものでした。

今日はそのような皆さんに2つのことを話します。1つ目は、私は日本経済新聞の夕刊を読むのを日課にしていますが、最近心に響きみなさんに伝えたい記事がありました。伊藤忠商事会長CEO岡藤正広氏が、「目標を持つこと。それを達成しようとして、努力しても失敗することがある。その失敗を受け入れそこから困難に打ち勝とうとするからチャレンジ精神が生まれると思う。私のキャリアも失敗の連続である。成功より失敗が絶対に多かったと言い切れる。でもそこから何か掴もうともがき続けることだけは忘れなかった。」と述べています。まさに私自身もそうです。高校では苦手な数学にもがき理解できず、第一志望の大学に失敗し、教員採用試験にも失敗し、と失敗の連続でした。でも私も何か掴もうともがき続けたことで今があると考えています。挑戦が人を成長させます。皆さんも夏休みにしかできない挑戦をしてほしいと願います。

もう1つは学校満足度アンケートです。満足しているとの回答は93.7%でした。満足していない理由として1番多かったのは、自転車置き場入り口の狭さについてと、マナーの悪さです。改善できることは事務室にお願いしています。みなさんには1人ひとりが余裕を持って登校し、自転車をきちんと並べることを守ってほしいと思います。またその他課題については取り組んでいきます。私はみなさんの満足度100%を目標にし、達成に向けて努力します。

結びに、この梅雨も大雨による被害が発生しました。みなさんのご親戚にも被害に遭われた方がいるかもしれません。1番大切なものは命です。明日からの夏休みにおいて、病気や怪我なく過ごし、2学期の始業式の日にもまた元気な笑顔を見せてくれることを祈念して、式辞といたします。

令和5年7月24日 福岡県立筑紫中央高等学校校長 林節子



自習中の生徒と図書館にて